

「学校削減数極端」 現計画異論相次ぐ

大野・小中再編検討委

大野市の小中学校再編計画見直しに向けた第2回検討委員会が30日夜、同市の結とびあで開かれた。現計画の学校削減数に対し、委員から「再編は必要だと思いが、(削減数は)極端すぎる」などと、異論が相次いだ。

2017年に策定された現計画では、中学5校を1校に、小学10校を2校に再編、校舎を新築する予定だった。会合では各委員が意

見を述べ再編には理解を示したが、削減数に対しては「中学校は2校は必要ではないか」などの意見が出た。一方で、「子どもの数を見ると現計画は妥当ではないか」との声もあった。

「アンケートなどで大人の意見を吸い上げようとしているが、それが子どもたちにとってもいいことなのか」などの意見も上がった。このほか、中学校の部活動の運営などについて話し合った。

次回は8月末の開催を予定しており、中学校再編について議論する。

(高谷優菜)